

### 議員活動広報状況についてのアンケート結果

目的：地方分権の動きの中で、市議会議員の諸活動の重要性はますます重要になり、その情報がわかりやすい形で市民に伝わり、あるいはそれに市民が気軽にアクセスできることが積極的かつ有意な市民参画に資することとなると考えられるため、議員の広報活動状況の調査を実施する。

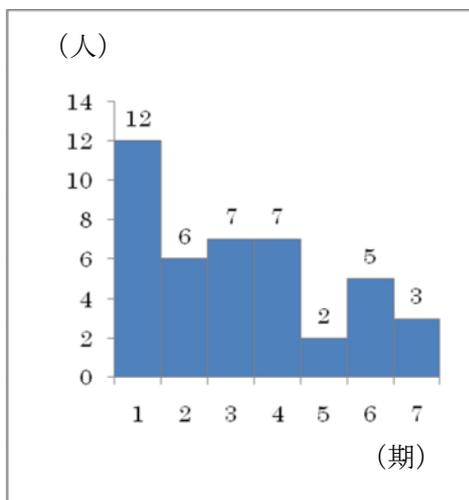
市議会議員総数：61名 回答者数：42名

回答率：68.85%

実施時期：2009年9月

方法：議員事務局を通して直接各会派に届け、FAX、郵送、持参（市民活動サポートセンターレターケース）の方法で回収した。（原本は末尾参照）

#### Q0. 期別回答者数



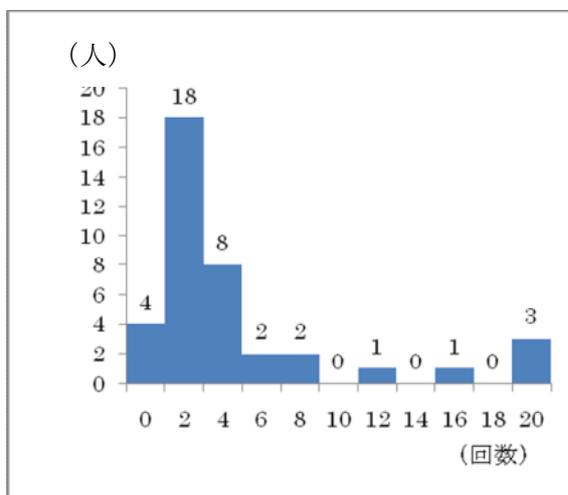
・1期目が12名と最多である。

#### Q1. 議員活動に関する広報紙はありますか？

→ ある (Q2へ)                      ない (Q3へ)

ある：41名                      ない：1名

#### Q2. 広報紙がある方のみ → 年 (           ) 回



・平均 5.0回/年だった。

Q 3. 市民に対して、公開の市政報告会を定期的を開催していますか？

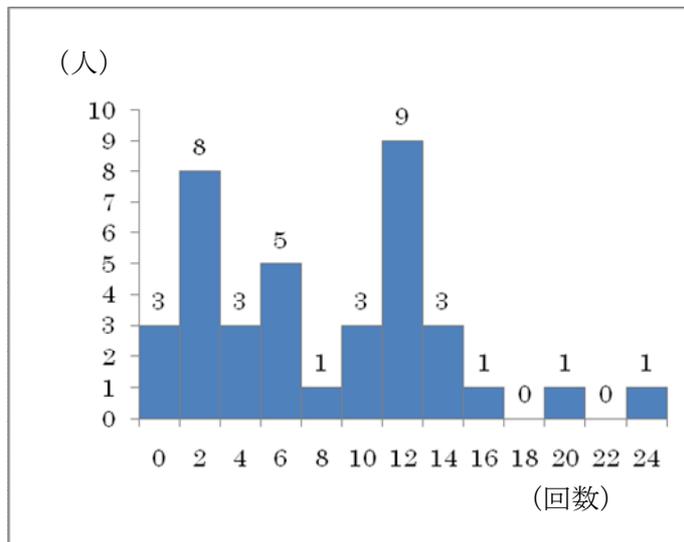
→ □している (Q 4へ)                      □していない (Q 5へ)

している：37名

していない：4名

未記入：1名

Q 4. 市政報告会を定期的を開催している方のみ                      → 年 (                      ) 回



・回答者 38名 のべ 319回 平均 8.4回

・個人の報告会の回数、個人+会派の報告会の回数 の回答が混在している

Q 5. 開催していない方は、今後、市政報告会を定期的を開催する計画はありますか？

ある：2名    ない：2名

Q 6. 議員活動に関するホームページはありますか？

ある：30名                      ない：12名

Q 7. 議員活動に関するメールマガジンを発信していますか？

ある：1名    ない：41名

Q 8. 議員活動に関するブログがありますか？

ある：11名                      ない：30名

Q9. その他、議員活動に関する広報について、感じておられることを何でもご記入ください。

氏名(順不同)	期	記述内容
山本 真理	1	<p>・各議員がそれぞれの責任で、市民に対して広報活動をするのは大前提と考えますが、現状は支持者に対しての説明が中心です。私の場合は趣旨に賛同いただき、市民ボランティアのご協力、選出区八幡西区へのポストインを行っています、その数は全所帯数の5分の1にとどまっています。そこで、議会後定例化している、市民センター等をつかった議会報告以外に、駅頭で議会前は傍聴への参加呼びかけ、議案の様子を中心に、議会後は全体、および一般質問等で明らかになったこと等を、街宣活動で伝えています。</p> <p>・議員個人だけではなく、議会としてどのような審議・討議(討議の場とは残念ながらありませんが)を行い、結論を出したかを明らかにする責任があると考えます。出身区に関わらず、また、会派を超えて、議会の役割として複数の議員が議会報告を地域住民に行っているという地方議会があると聞いています。まだ実現できていませんが、まずは他の議員に働きかけ、賛同いただける方といっしょに試験的に、共同で議会報告会を行いたいと考えています。年度内にまず第1回目の開催をめざします。</p> <p>・議会広報としては「市議会だより」がありますが、内容は本議会等、全体の一部にとどまり、十分とは言えないと考えています。委員会活動、議案への賛否の様子(議員別あるいは会派別)、市民から出された請願・陳情にどのように討論が行われたか等を明らかにすべきだと考えています。</p> <p>・北九州市議会では私のような一人会派を認める一方で、5人以上の交渉会派でなければ、議会運営委員会や議会改革協議会をはじめとした機関会議に参加できません。したがって市民に説明責任を果たす議会広報のあり方について、今後どのように意見を出していくか考えているところです。</p>
三宅 まゆみ	4	ホームページやブログはまだまだご覧になられる方は限られており、広報紙が有効であるが費用がかかるのが難である。又、環境面も考えると複雑である。
濱野 信明	2	街頭宣伝の回数を重ねることに重点をおくも宣伝効果が不明
永岡 啓祐	1	特になし
馬場 一榮	6	ブログを過去に行っていた。メルマガも含め行いたい。
松井 克演	7	北九州市で9区10区統一で県政・市政報告会を企画したい
河田 圭一郎	1	議員活動は特に地域活動に全力を注いでいる
西田一	1	HPに関して柔軟な法制化をのぞみます。
上野 照弘	1	<p>・日頃から広報については心がけています。</p> <p>・ブログについてはかたくなりすぎず、むずかしい言葉をさけるように心がけています。</p>
村上 幸一	2	選挙期間中のインターネットの解禁
柳井 誠	4	私自身のもはまだまだ不足しています。
荒川 徹	6	紙媒体やHPに加えて街頭演説による口頭報告も行っており、それも一定の役割を果たしていると思います。
八記 博春	1	街頭から拡声器による報告を行っている。
野依 謙介	3	<p>メールマガジンの発行で若い人との相互の意見交換のツールとしたい。</p> <p>・同時に一方で高齢の方々との相互の意見交換が活発に図れる「広報」の仕組みづくりを模索している。</p>
奥村 祥子	2	現在のところ、HP等の開設はしていませんが(少々アナログ人間で)いずれ発信したいな、と思っているところです。しかしながら市民の皆さまとはお会いして共にディスカッションする事により、その声を市政へ届けている今の活動も更に引き続きしたいと考えています。

## アンケート結果全体より

- ・街宣活動や直接話を聞くことはとても重要に考えている一方、街頭宣伝の効果に疑問をもっている。
- ・ホームページの普及率は高い（42名中30名、71.4%）が、「みる人は限られている」との意見もある。ブログやメルマガはまだ一般的ではない。
- ・選挙中のインターネットの活用について柔軟な対応を望む意見が複数ある。
- ・若い世代への広報はインターネットの活用を意識し、高齢世代への広報は模索しているなど世代別の広報を意識している意見がある。
- ・報告会の回数は1期目の議員の「今後、やりたい回数」も含んでいる。

全体に説明責任を重く感じていることがうかがわれた。このアンケートの回収率も68.85%と高く、予想よりも広報活動への意識が高かった。議員の活動報告会は、市政への理解を助ける機会でもある。その議員自身のしていることだけではなく、他のテーマに関しても、どんな論点があって、どう決まっていたのかの経過を知ることは、その後の事業の推移についての市民の関心を育て、つなげることが多い。お一人おひとりは広報活動に意欲的でより工夫をこらそうとする姿勢が伝わってきて、ぜひ今後を注視したいと感じられた。

こちらの設問があいまいな部分があって、活動報告会が会派合同のものか、議員独自のものか不明な部分があり、その点では詳細を把握できなかった点、また、当選1回の議員は「実績」ではなく、「予定」を記入せざるを得ないなど、質問設計に課題を残した。後日うかがったが、政党によっては、『個人の活動に絞って回答すること』という説明の上に回答された、とのことだった。まったく同じ条件のもとでの回答ではなかったわけで、会派別に分析することは留意しなければならない。

定期的にこのような調査が必要であるとは感じているが、質問の設計に関して、今後留意したい。

(北九州NPO研究交流会)

アンケート原本

議員活動広報状況についてのアンケート

お名前	( ) 期め
会 派	
ご連絡先	TEL FAX

Q 1. 議員活動に関する広報紙はありますか？

→ ある (Q 2 へ)                      ない (Q 3 へ)

Q 2. 広報紙がある方のみ → 年 ( ) 回

(もし、できましたら、見本をご恵与ください。)

Q 3. 市民に対して、公開の市政報告会を定期的を開催していますか？

→ している (Q 4 へ)                      していない (Q 5 へ)

Q 4. 市政報告会を定期的を開催している方のみ → 年 ( ) 回

Q 5. 開催していない方は、今後、市政報告会を定期的を開催する計画はありますか？

→ ある                      ない

Q 6. 議員活動に関するホームページはありますか？

→ ある                      ない

Q 7. 議員活動に関するメールマガジンを発信していますか？

→ ある                      ない

Q 8. 議員活動に関するブログがありますか？

→ ある                      ない

Q 9. その他、議員活動に関する広報について、感じておられることを何でもご記入ください。

ありがとうございました。